

第1回 オホーツク東部減災対策協議会 議事要旨

日時：平成29年7月5日（水）10：00～11：30

会場：斜里町役場2階大会議室

構成員：斜里町長、小清水町長、清里町長、網走地方気象台長、陸上自衛隊第6普通科連隊長（代理：副連隊長）、北海道警察北見方面本部警備課長（欠席）、北海道警察斜里警察署長、斜里消防組合消防長、網走開発建設部長（代理：次長）

《議事内容》

- ① 協議会の設立趣旨
- ② 協議会規約
- ③ オホーツク東部の河川概要
- ④ リエゾンについて
- ⑤ ホットラインについて
- ⑥ タイムラインについて
- ⑦ 幹事会の報告
- ⑧ 今後の予定について

《構成員からの主な意見》

（協議会規約）

- ・事務局が多すぎて分かりづらい。（斜里町長）
→事務局で検討し修正案を提示します。
- ・浦士別川は網走市も関係しているがこの協議会には参加しないのか。（小清水町長）
→網走市は網走川ほか減災協議会に参加しており、この中で浦士別川も対象としています。
今後の協議会の開催に当たっては共同開催等も検討していく予定です。
- ・水防法の改正により、今後この協議会を大規模減災協議会といった法定協議会に移行することになるが、まだ正式な通知がされていない状況です。（開発局次長）
法定協議会であれば、議会对応はどうなるのか。（清里町長）
→そういった事も含めて、現時点では国土交通省でも整理が十分ではないので正式な文書が発行された後にお知らせします。

（河川概要）

- ・水位周知河川である斜里川には水位観測地点は何点あるのか。（清里町長）
→斜里川では札弦観測局・斜里川中央橋観測局・斜里観測局の3地点です。
- ・重要水防箇所3.6kmの範囲はどこまでか。（清里町長）
→河口から右岸1.8km、左岸1.8kmの合計3.6km、国道244号線の下流までです。
- ・昨年の洪水により河道内に倒木があり、危険な状態だが、簡単に撤去できない状況にある。（清里

町長)

→現地状況を確認し、関係機関と協議して対応します。

- ・河道内樹木の伐採も上下流のバランスや漁業者にも配慮しながら計画的に実施して欲しい。(斜里町長)

→環境に配慮しながら計画的に伐採していくことを考えています。

- ・浸水想定区域図の浸水範囲が実際の浸水実績から考えると狭いように感じる。(清里町長)
- 地形的な要因と思われるが、確認します。

・水位計の設置されていない河川の水位把握については量水標の設置が有効と考える。(斜里町長)

→水位計の設置されていない河川の対応については幹事会でも議題になり、今後役場と協議しながら対応していきます。

(その他)

- ・リエゾンの有効な活用をするために利用方法の共通認識を図る為の仕組みが必要。(斜里町長)

- ・緑ダムの放流は下流の水位状況を考えて欲しい。(清里町長)

→放流はダムの貯水限界があるため、ある水位まで上昇すると流入量と同じ量を放流すると思われるが、緑ダムの構造タイプが分からないので、確認する。(開発局次長)

- ・清里町には気象台のアメダス観測地点が無いので、要望している。(清里町長)

(気象台から)

- ・レーダー・気象衛星・高層観測・地上観測等様々な観測により、的確な情報を提供していきたい。
- ・防災気象情報の運用に関して改善しており、大雨警報等の危険度分布や大雨特別警報を指数を活用している。
- ・防災に関する啓発活動の取組を強化している。